

令和4年(2022)2月 『春を待つ松子』

冬でも水をためたままにしている松子の田んぼでは、たくさんの生き物たちが春をまっています。2月の初めに、アカガエルが冬眠していた土から出て、一斉に産卵すると、田んぼにはたくさんの卵塊が見られるようになります。水面が凍る日もありますが、その下でメダカやドジョウもじっと隠れ、暖かくなると姿を見せてくれます。

松子川にはたくさんのカワニナが見られますが、ゲンジボタルの幼虫は、これを餌にして暮らし、4月になると蛹になるために上陸します。土手や畔ぎわではホトケノザ、タネツケバナなど小さな草花がもう花をつけ始めています。

<問合せ先>

増田 090-8045-0606 小池 070-4027-7098

Facebook「一宮ネイチャークラブ」で検索してください。

会員募集中

